

防犯パトロール体制の構築を求む



三友美恵子



町長

地域活動への啓発・支援に努める

質問 安全・安心パトロールを廃止して防犯カメラ15台を通学路に設置するというが、防犯カメラの稼働だけで安全・安心パトロールの代替になるのか。

答弁 町長 防犯カメラの稼働が、そのまま町のパトロール活動の代替になるとは考えていない。地域の目を育てる観点からもパトロール活動は重要であると考えます。町全体の防犯力が高まるよう、地域のパトロール活動の啓発や支援に努める



防犯カメラも地域の目の一つ

ていく。

質問 保育所の冬季駐車場警備がなくなったが、安心が保てるのか。

答弁 町長 「防犯カメラ稼働中」の看板や防犯灯の増設で、同程度の効果が得られると考えている。

質問 小学校の通学路の安全対策はどのようになっていくか。

答弁 学校教育課長 毎年4月から5月には安全点検をしている。危険個所の対処が済むと町のホームページに載せ知らせている。

健康のまち玉村を 目指せ

質問 「はつらつ玉村21」第1次計画の最終評価をどのように受け止めているか。

答弁 町長 「栄養・食生活」「歯・口の健康」「たばこ」「循環器病・がん」「食育」の領域では、ほぼ計画どおりに進捗

し、取り組みの成果があったと受けとめている。しかし、「身体活動・運動」の領域では目標をかなり下回っており、改善に向けた対策強化が必要と受け止めている。

第2次計画には新たな施策として「高崎健康福祉大学と連携協力事業」を加えた。

質問 健康寿命を延ばすことが介護保険料や健康保険税の削減につながると思う。町全体でウォーキングを推進していくような体制をとるべきだと思いがどうか。

答弁 町長 高崎健康福祉大学との連携事業では、生活習慣病の方に活動量計を配り、日常の運動の成果についての調査を行う。良い結果が出たら、健康寿命を延ばすため、町全体の施策に広げていく。

「たまりん」町内路線は廃止するのか



宇津木治宣



町長

10月からの廃止はない

質問 3月議会だよりによれば、「たまりん」の運行について、「今年10月からのタクシー券の配布と合わせ町内路線を廃止の方向で調整したい」と答弁しているが。

答弁 町長 当初はそうのように答えたが、その後のやり取りで、タクシー券配布と同時の運行見直しはしないとの答弁になった。

質問 「たまりん」の運行見直しは、地域交通網形成計画を策定した上で検討すべきではないか。

答弁 町長 当町には「たまりん」のほかに、県立女子大学から高崎駅・伊勢崎駅への東西方向のバスと、玉村町役場を經由して前橋駅と新町駅へ乗り入れる南北方向のバスが通っており、これらのバスを割引で利用できる「敬老バスカード」の利用者が増加している。また、タクシー事業者も営業所や配車センターを設けている。



生涯学習の役割を担う勤労者センター

勤労者センター敷地 返還の受け皿は

質問 町は、勤労者センターの敷地を、平成32年度をめどに返還することでJAと合意している。

今年度予算に、世代交流多目的施設(※1)の基本構想策定予算が計上されているが、計画の進捗状況は。

地域交通網形成計画は、町全体としての公共交通の姿が明らかになった段階で策定したい。

答弁 経営企画課長 昨年の12月議会で平成29年度に基本構想策定、30年度に実施設計、31年度に建設する計画と答弁した。しかし、財政状況を考えると厳しい状況であるため、受け皿として文化センターや社会体育館を利用できないか検討している。

質問 議会は、政策提言として生涯学習の場の確保を求めている。財源確保の努力はないのか。

答弁 副町長 規模を縮小することで90%の起債が受けられ50%が交付税算定されるが、5億円の施設をつくる場合でも約3億円の持ち出しがある。町民の満足のいく受け皿を検討したい。

こんな質問もしています

国民健康保険制度の変更に

※1 世代交流多目的施設とは13ページを参照